

太宰府市俳句ポスト第一〇七回入選者

令和二年五月十日〜令和二年八月十日

入選句

選者 阿比留 初見

反り橋のほどよき反りや水馬 福岡市 白中道義

会話さへ途切れさせたる蟬しん水 太宰府市 座親フミ子

小糠雨白の際立つ 苜蓿園 小郡市 中野 智津恵

あめんほう水面の彩を崩しゆく 春日市 水利 五十鈴

人出た^たち^ち宮の静寂や蟬時雨 太宰府市 白石 照子

涼風を引き寄せてゐる池中句碑 福岡市 西村 芳山

雨に濡れ艶めく宮の花苜蓿 熊本県 田田 侑馬

樹々の間を透かして遠し夏の穴工 那珂川市 池田 ひさ絵

花苜蓿人引き寄せてゐる宰府 福岡市 飯田 絹子

神木の威容いや増す苜蓿の花 大野城市 北 嘉与子

人声に寄り来る鯉の池涼し 福岡市 岡村 礼子

苜蓿いむ筆塚と守る杜涼し 福岡市 柴田 佳津子

梅雨深し神木深く頭たれ 太宰府市 金丸 恵子

時の日や父の遺品の袖時訂 太宰府市 脇山 郡司

一吟を終へひと口のソーダ水 筑紫野市 笹倉 裕子

神の地さざ波立ち蜻蛉生る 福岡市 河野 京子

太宰府と今日でさよなら夏の雲 和歌山県 貝塚 さくら

たぐいふはおまつりめたいのしいな 北九州市 吉崎 百音

遊園地ニこのそニこのそあせかいた 春日市 池内 瑠石

梅雨曇期末試験も間近なり 太宰府市 藤田 智美

13歳 10歳 6歳